

「市民活動・地域コミュニティ講演会」アンケート集計結果

(回答総数 93人)

Q1. あなたの性別を教えてください。

男 性	73人
女 性	18人
未回答	2人

Q2. あなたの年齢を教えてください。

10代	0人
20代	1人
30代	2人
40代	7人
50代	20人
60代	41人
70代	21人
80代以上	0人
未回答	1人

Q3. あなたの職業を教えてください。

自営業	23人	
会社員	9人	
公務員・教員	6人	
主婦	7人	
学生	0人	
パートアルバイト	10人	
その他	36人	
内 訳	無職	(7人)
	不動産貸付業	(1人)
	会社役員	(1人)
	その他	(27人)
未回答	2人	

Q4. あなたがお住まいの地域を教えてください。

下戸田地区(喜沢・中町・下戸田・下前・喜沢南・川岸1・2丁目)	21人
上戸田地区(上戸田・本町・南町・戸田公園・川岸3丁目)	24人
新曽地区(新曽・新曽南・氷川町)	14人
笹目地区(笹目・笹目北町・笹目南町・早瀬・下笹目)	8人
美女木地区(美女木・美女木東)	19人
その他	6人
未回答	1人

Q5. あなたは近隣の方と、どの程度お付き合いをされていますか。

日常親しく付き合っている	55人
世間話くらいはする	20人
会えば挨拶を交わす程度である	14人
あまり付き合いがない	2人
未回答	3人

複数回答あり

Q6. ボランティア活動など、市民活動についてお尋ねします。(複数回答)

・現在、活動している.....113人(複数回答あり)

【活動内容】

福祉	24人	
環境	18人	
教育	6人	
まちづくり	37人	
その他	23人	
内 訳	町会	(10人)
	防犯パトロール	(4人)
	防災	(3人)
	スポーツ	(1人)
	コンパル	(1人)
	レクリエーション	(1人)
	交通安全	(1人)
	IT	(1人)
子供の見守隊	(1人)	
その他	5人	

・活動していない.....8人

・今後、活動してみようと思う.....7人

【活動内容】

福祉	1人
環境	2人
教育	1人
まちづくり	2人
その他	1人

・未回答.....2人

Q7. 去年7月にオープンした「ボランティア・市民活動センター」についてお尋ねします。

よく利用している	7人
時々、利用している	13人
あまり利用していない	8人
利用したことはない	59人
未回答	6人

Q8. 「センターを利用したことのある方」、又は「これから利用したいと思っている方」にお尋ねします。センターにはどのような機能が一番必要であるとお考えですか。(複数回答)

気軽にミーティングができる	11人
印刷機等があり、資料作りができる	10人
市民活動の情報収集・発信ができる	20人
活動について相談できる窓口がある	21人
その他	2人
内訳	市外勤務や単身で努めている人は良く理解できにくい。 視覚障害者がもっと利用しやすく分かり易いものであるとよい。

Q9. 市民活動の情報を発信している「戸田市民活動支援サイト」についてお尋ねします。

よく利用している	3人
時々、利用している	15人
あまり利用していない	9人
利用したことはない	61人
未回答	5人

Q10. 「地域通貨戸田オール」についてお尋ねします。(複数回答)

戸田オールをもらったことがある	47人
戸田オールをあげたことがある	8人
戸田オールを店舗で使ったことがある	17人
戸田オールのこと知らない	22人
その他(知っているが、使ったことはない)	4人
未回答	11人

Q11. 地域のまちづくりについて、あなたは何が必要だと思えますか。(複数回答)

イベント等を通しての市民の交流の場	30人
各団体等が協力しての組織づくり	30人
住民が利用しやすい拠点となる施設	34人
各団体における活動内容のお知らせ	10人
その他	5人
内訳	市民がまちづくりに取り組める色々なアイデア・材料・行動を知らしめることが必要。 若い人達にも参加できる体制にして欲しい。 社会人は20才以上誰でも参入できる体制に。特に勤務している人は入りづらい。 町内会が組織的に先導し、拠点づくりに関わるべき。
未回答	10人

Q12. あなたは今回の「講演会」をどのようにして知りましたか。(複数回答)

広報戸田市	25人	
ポスター	19人	
チラシ・パンフレット	15人	
知 人	7人	
団体・グループ	23人	
サイト	6人	
インターネット	2人	
未回答	3人	
その他	14人	
内 訳	町会通知	(5人)
	庁内情報	(1人)
	環境クリーン室	(1人)
	その他	(7人)

**Q13. 本日の講演会で「印象に残ったこと」や「キーワード」など、ご感想・ご意見をお聞かせください。
(回答そのままを記載)**

- ・ これからの計画作り(団体)の基本の考え方について大変参考になった。【70代男性】
- ・ 自立性 協働、市民の立場、行政の立場 二元性、市民行政、議会皆理解する、協力する、努力する。【60代女性】
- ・ これからの生き方に有意義だった。【60代男性】
- ・ 協働の重要性を再認識した。【60代男性】
- ・ 市民と行政の融合【40代女性】
- ・ 市長・市職員・議員さんの立場などを交えたお話で考えさせられることが多かった。開かれた市民団体であることの意味も考えなければと思いました。【40代女性】
- ・ とても良い話でした。【60代女性】
- ・ ”まちづくり“のつくり方が非常に良く理解できた。特に議会行政の立場を理解した上で、市民との協働にローコストで上がる戸田市を作りたい。【60代男性】
- ・ 協働の必要性、実施上の留意点等ポイントが理解できました。【50代男性】
- ・ 「協働の仕組みづくり」という形はとても面白かった。自分のアイデアだけが良いと思わず、他人のアイデア、仕事を考えることも大事だと思った。【50代男性】
- ・ 協働によるまちづくり【70代男性】
- ・ 自主性、自立性、一人一人が相手の立場を考えることの大切さが理解出来た。今失われつつ、きづな・コミュニティづくり。【50代男性】
- ・ 自立性、協調性【60代男性】
- ・ 国と地方合わせて長短債務1,000兆円、タイタニック号に乗船していると云う危機感をいかに国民に植え付けるか。協働に切り口あり いかに具体化するか、共生社会に向けて。【60代男性】
- ・ 市、議会、ボランティアグループの相互理解、有償・無償ボランティア共存OK【60代男性】
- ・ マイクの音量調節が悪かった。質問を市民委員ぐらいは用意しておくべき。【50代男性】
- ・ コミュニティの大切さは地域の協働が一番である。国も地方も家庭も赤字、さあどう対応するか。自立心を持つ事、相手の立場を理解する。【60代男性】

- ・ 市民を念頭にしながら行政、議会を理解するとともに3者の協働で、相互理解・自主・自立の意味を深く考え協働していくことが大切との考え方、よく活用すること。今後できることから私も考えていることを行動に移したい。【60代男性】
- ・ これからの行政のあり方について、市民がどのように携わっていけば良いかという視点で、元志木市長で相当の実績をあげられた講師の講話は非常に有意義なものであった。【70代男性】
- ・ 行政のもともとの体質を考えた上での議会と団体(住民)との協働のやり方の話を参考にして、よりよいコミュニティが出来ればと思った。【50代女性】
- ・ 行政の立場と市民の立場を認め合うこと。体験してこそ理解される。指導型では自立しない。【30代男性】
- ・ 議員と各団体の役割について【30代男性】
- ・ NPOの独立とバランスシート、市の下請けではない。積極的な協働は良い、良質な果実を生む。良い講演会でした。また、お願いします。【性別・年齢未回答】
- ・ 「おまかせ民主主義」金(税金)の使われ方を監視する機関の一般化が必要と感じた。(広報等で開示されているより細かい部分、例えば議員報酬に付随する諸手当の明細等)【50代男性】
- ・ “心の豊かさ”“市民の自立”が今後のキーワード。【40代男性】
- ・ 政治力 = 妥協【50代女性】
- ・ 「各団体相互間の理解 = 協働」【60代男性】
- ・ 戸田市も色々な事を企画され、大変良い事だと思います。市民団体の協力で本当に住み良い町づくりが出来ると良いですね。私も一応協力して居ります。【60代女性】
- ・ 少し古い情報が多かったような気がする。もう少し、NPOでの活用状況を聞きたかった。【40代女性】
- ・ 行政・市民・議会のつながりがあることが、少しだけ分かった。【50代女性】
- ・ 公務の担い手【40代男性】
- ・ 講演会の話半分位、良くわかりました。【50代女性】
- ・ ひとりひとりの自立心が如何に大事であるか…と改めて自覚いたしました。【60代女性】
- ・ 協働のしくみは市民の立場、自治体の立場、議会の立場となっていて、この周辺のすみわけを位置付ける事は難しいと感じた。具体的事例をあげながら、わかりやすかった。【60代男性】
- ・ お互いの立場を認め合う。【60代女性】
- ・ 自治体における二元性、市民はオーナー、お互いの情報公開と評価、議会を意識【40代男性】
- ・ 協働による自立政策の重要性【60代男性】
- ・ 行政の政策官庁化、並びに市民参加と有償ボランティア的概念への合意【60代男性】
- ・ 協働、共に働くと云う事理解しました。(行政と市民コミュニティ)【70代男性】
- ・ 大変勉強になりました。【60代男性】
- ・ 自らの経験を通してのレクチャー、参考になりました。【60代男性】
- ・ 自主性、自立性、財源捻出 = 行政を頼ったり、援護を求め過ぎるとだめ。行政は、利益を求めると結果を得るところか、市民から離れてしまう。【60代男性】
- ・ 先生のユーモアたっぷりで行政・議会の裏の内容まで良くわかりました。「協働はなぜ必要か」このことが良く分かりました。【70代男性】
- ・ 行政との協働をする時、議会・議員の立場も考えよ、とのお話は、初めて聞きました。【50代女性】
- ・ 協働の理解、相手の立場、行政の立場、市民の立場等理解を深め、心の豊かさを養うことが大切か！ 協働の目的を知り、前進することが大切かと。【70代男性】
- ・ 今回の講演会は非常に参考になりました。【70代男性】